

広報 なんこう 南広だより 南但広域行政事務組合

2008

第3号

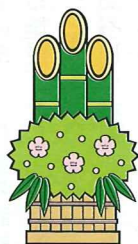
1.1



養父市八鹿町 名草神社・三重塔



あけまして
おめでとう
ございます



◎もくじ

- 管理者・議長新年のごあいさつ…………… 2
- 地元説明会、先進地視察…………… 3
- ごみの減量化に向けての取り組み…………… 4
- 生活環境影響調査書の縦覧結果…………… 5
- 組合議会の報告…………… 6

管理者・議長新年のごあいさつ



南但広域行政事務組合
議長 吉井 稔
(養父市議長)

新年明けましておめでとうございます。
議会を代表いたしまして新年のごあいさつ
を申し上げます。



南但広域行政事務組合
管理者 井上 英俊
(朝来市長)

明けましておめでとうございます。
ご家族お揃いで、よき新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

当組合が運営しております共同電算業務、
休日診療所、スポーツセンター、精神障害者
小規模通所授産施設等への格別のご理解とご
協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、南但の重要事業として養父市・朝来
市が一体となって取り組んでおりますごみ処
理施設整備事業につきましては、平成18年12

月に可燃ごみの処理方式を「バイオマス+焼却方式」に決定してから、昨年は周辺地域への地元説明会を29会場において実施し1300人もの方々に説明をさせていただきました。10月にはごみ処理施設建設に対するご不安を払拭する為に先進地視察を実施し、たくさんの方のご参加をいただきました。住宅の付近にあるごみ処理施設の状況をじかに見て頂き、ご理解を深めていただけたと思います。

南但ごみ処理施設はごみを燃やすだけの施設ではなく、バイオマスという新しい方式を採用してダイオキシン、二酸化炭素の発生抑制、未活用エネルギーの有効利用を図りながらごみを処理していく施設であります。全国的にも公共団体が取り組むのは初めてということもあり、非常に注目を集めている施設であります。

両市の財政が大変厳しい折ではありますが、市民生活において必要不可欠な施設でありま

平成の大合併により、但馬の自治体が3市2町に集約されていますが、朝来市、養父市の広域的事業である南但スポーツセンターの運営管理、電算業務の印鑑登録、市税、国保、上下水道、福祉、住民基本台帳ネットワークなどの業務を南但広域行政事務組合で行っています。事業推進に日頃より深いご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

また、両市の重要課題であります南但ごみ処理施設建設の大事業を進めています。

国の交付税減額、県の行財政改革などで両市とも財政状況が厳しくなる中で、市民にとりましては、必要不可欠な事業だけに、慎重

すので、国の高率交付金事業の適用を受けるとともに、合併特例債の活用等により適時、適切な事業実施を目指すこととしています。

また、南但地域としては「ごみ処理基本計画」に基づき地球温暖化の抑制、循環型社会への移行を目的としてごみの減量化と資源化を一層進めるため両市市民の協力のもと分別の拡大に取り組んでおり、養父市においてはびん類の3色分別、朝来市においてはプラスチック製容器包装の分別収集が昨年10月から実施されており、両市共に順調なスタートとなりごみの減量の成果が現れてきています。

新たな施設整備につきましては、循環型社会、脱温暖化社会の形成を目指す施設として安全で安心できる施設、そして開かれた施設整備を進めてまいりますので、皆様のご理解・ご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。皆様のご多幸を心から祈念申し上げます。いさつとさせていただきます。

に調査研究を重ね、事業費を最大限圧縮した上に、有利な交付金制度と合併特例債を活用しての事業計画です。安全、安心な施設で環境面も十分考慮した施設を早期に着工することが望まれています。

地元地域の皆さんの深いご理解とご協力を切にお願い申し上げますと共に、この事業により両市の信頼がさらに深まり、市民生活にも大きく寄与し将来の展望が大きく広がることを祈念いたしまして新年のごあいさついたします。

地元説明会、先進地視察の実施

◎説明会の開催

組合では、施設整備の予定地である高田区向山の周辺地区（養父地区、糸井地区、大蔵地区）の皆さんに対し、事業推進にご理解とご協力をいただくために、説明会を実施し、本事業に対する様々な疑問や質問にお答えしました。



H19.6.26 糸井市民会館

月 日	対 象	会 場	出席者数
6月18日	大蔵地区（上）	大蔵市民会館	69
6月19日	大蔵地区（下）	多世代交流センター	19
6月26日	糸井地区	糸井市民会館	53
8月17日	林垣区	林垣公民館	41
8月21日	緑ヶ丘区	緑ヶ丘公民館	36
9月 7日	藪崎・上藪崎・ 養父市場・大蔵区	コミュニティセンターやぶ	34
9月14日	中・鉄屋・口米地区	鉄屋・口米地多目的集会所	27
9月19日	大塚区	大塚コミュニティセンター	34
9月21日	秋葉台1・2・3・4区	秋葉台中央集会所	44
9月25日	寺内区	寺内公民館	52
9月27日	市場区	市場公民館	26
10月 1日	法道寺・岡・ 芳賀野・宮内区	法道寺公民館	36
10月 9日	高瀬区	高瀬公民館	69
10月10日	宮田区	宮田公民館	16
10月19日	堀畑区	堀畑公民館	40
		合 計	596

◎視察の実施

10月に養父地区、糸井地区、大蔵地区の皆さんに参加いただいた先進地視察の模様をお知らせします。
住民説明会において、ごみ焼却施設の排ガス等による環境不安のご意見がたくさんありましたので、新興住宅地の中にあるごみ焼却施設、あるいは周辺環境のよく似た地域でのごみ焼却施設をご視察いただきました。
クリーンセンター職員の説明に対して様々な質問をされる姿から、住民の皆さんの関心の高さがうかがえました。

月 日	地 区	行 き 先	参加者数
10月23日	養父地区	加古川市新クリーンセンター 神戸市落合クリーンセンター	60
10月29日	糸井地区	宝塚市クリーンセンター 加古川市新クリーンセンター	63
10月31日	大蔵地区	宝塚市クリーンセンター 京都市北部クリーンセンター	67



◀ 神戸市落合
クリーンセンター

H19.10.23 養父地区



◀ 加古川市
新クリーンセンター



▶ 宝塚市
クリーンセンター

H19.10.29 糸井地区



H19.10.31 大蔵地区

▲京都市北部クリーンセンター

ごみの減量化に向けて 新たな分別が始まる

◎委員会の開催

南但ごみ処理計画検討委員会では、昨年度に「南但ごみ処理基本計画」および「循環型社会形成推進地域計画」を策定しましたが、今年度からは、計画のフォローアップ(※)を行っており、12月3日に委員会が開催されました。当日は、平成18年度、平成19年度上半期までのごみの排出状況や新たな分別の実施などについて報告があり、委員の意見交換が行われました。

(※)進捗状況を把握して、必要に応じて見直しをすること



◎ごみの排出状況

南但地域における平成18年度のごみ排出量は、平成17年度に比べ、全体で2.5%の減少となりました。また、平成19年度上半期までを前年同期と比較すると、収集ごみで8.3%、持込ごみで8.1%の減少となっており、取り組みの成果が現れてきていると考えられます。

(単位:トン)

項 目	平成 17年度	平成 18年度	比較	平成 26年度 (目標)
収 集 ご み	17,059	16,501	▲3.3%	14,192
直接搬入ごみ	6,385	6,360	▲0.4%	3,708
合 計	23,444	22,861	▲2.5%	17,900

◎新たな分別の実施

養父市、朝来市では、平成18年度に策定された「南但ごみ処理基本計画」に基づいて、新たなごみ処理施設の整備に向けた分別収集への取り組みが進められています。養父市においては、一部の地域で実施されていた「缶類」の袋収集からコンテナ収集への変更、「びん類」の袋による混合収集から3色分別でのコンテナ収集への変更が10月から全市で実施され、順調なスタートとなっています。

また、朝来市においても、昨年からはモデル地区で試行されていた「プラ製容器包装」と「紙製容器包装」の分別収集が10月から全市に拡大されました。10月の1月間でプラ製容器包装14トン、紙製容器包装12トンが回収され、資源化されています。

両市においては、引き続き、新たな分別の実施、収集方法の変更が予定されていますので、住民、事業者のみなさんのご協力をお願いします。



プラ・紙製容器包装の分別 (朝来市)



びん類の3色分別 (養父市)

生活環境影響調査書の 縦覧手続きを行いました

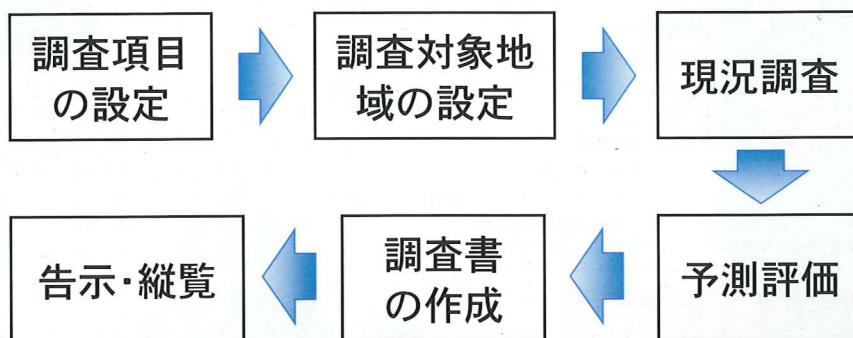
◎縦覧結果について

組合では、高効率原燃料回収施設（バイオマス施設＋焼却施設）とリサイクルセンターが周辺の生活環境に与える影響について平成15年8月から1年かけて現況調査を行い、平成18年度に予測評価を行いました。その結果について調査書の縦覧を行いましたのでお知らせします。

平成19年8月20日から9月19日までの1ヶ月、組合事務所並びに両市の各庁舎において調査書の縦覧を行い7名の方が縦覧されました。

また、縦覧開始日から10月3日までの間、住民の皆さんからの意見書の受付を行いました。件の意見書が提出されました。しかし、生活環境影響調査に係る意見ではなかったため一般の意見として取り扱っています。

生活環境影響調査手続きの流れ



☆生活環境影響調査とは

施設の建設計画段階において、その施設が周辺地域の生活環境に及ぼす影響をあらかじめ調査・予測・評価し、その影響の程度



を明らかにするとともに、必要な保全対策を施設整備計画に反映させるための調査です。

縦覧者数

縦覧場所		人数
組合	南但広域行政事務組合事務所	3
養父市	市民生活部市民課	0
	養父地域局市民課	3
	大屋地域局市民課	0
	関宮地域局市民課	0
	市民生活部生活環境課	0
朝来市	生野支所市民課	0
	山東支所市民課	1
	朝来支所市民課	0
合 計		7

意見書件数

意見書提出場所		件数
組合	南但広域行政事務組合事務所	0
養父市	市民生活部市民課	0
	養父地域局市民課	2
	大屋地域局市民課	0
	関宮地域局市民課	0
	市民生活部生活環境課	0
朝来市	生野支所市民課	0
	山東支所市民課	0
	朝来支所市民課	0
合 計		2

提出された意見書の全文及び組合の見解については、

組合ホームページ

URL : <http://www.fureai-net.tv/nantankoiki/>
において紹介しています。

生活環境影響調査書に対するお問い合わせは、

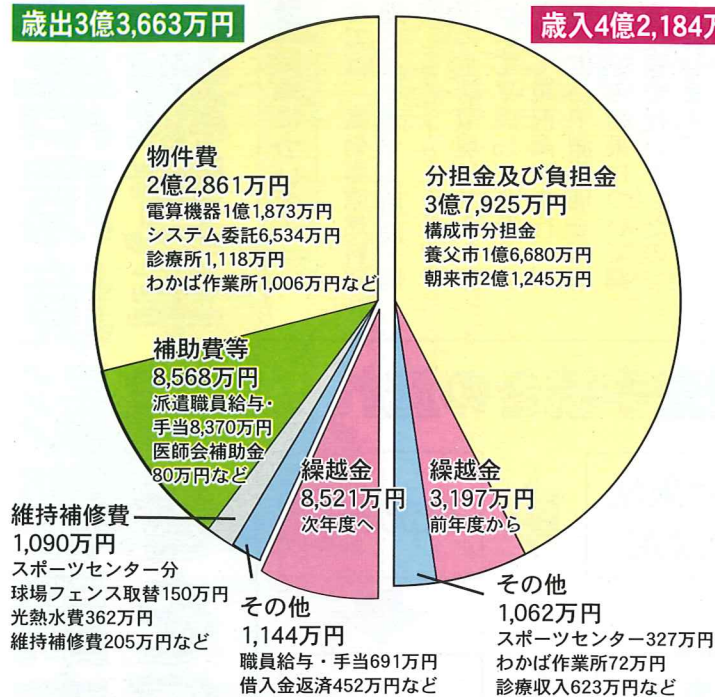
南但広域行政事務組合環境係

(TEL 665-0146) へ、お願いします。

平成18年度決算状況(3会計合算)

歳出3億3,663万円

歳入4億2,184万円



第91回定例会

組合議会報告

平成18年度決算を認定

第91回組合議会(定例会)が10月2日(火)に開かれ、一般会計・電算事業特別会計・休日診療所特別会計の平成18年度決算認定及び国民健康保険の被保険者証のカード化に対応するシステム改修費用などを計上した平成19年度電算事業特別会計補正予算などの8議案が提案され、いずれも原案のとおり可決・認定されました。

また、ごみ処理施設建設に対する一般質問が行われました。

第92回臨時会

副議長に坪内氏

朝来市議会の役員改選に伴い、第92回組合議会(臨時会)が11月15日(木)に開かれ、副議長に坪内一由朝来市議会議長を選任しました。

組合議会役員構成

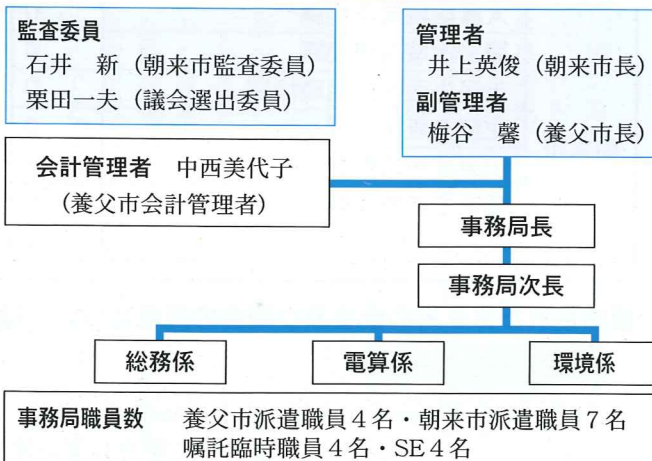
議長	吉井 稔		養父市議会議長
副議長	坪内 一由		朝来市議会議長
議員	栗田 一夫	監査委員	養父市議会
議員	寺尾 稔		養父市議会
議員	太田 則之	議会運営委員長	朝来市議会
議員	横尾 正信	ごみ特別委員長	朝来市議会
議員	山根 延子	議会運営委員	養父市議会
議員	高橋 本明	議会運営・ごみ特別副委員長	養父市議会
議員	藤原 敏信		朝来市議会
議員	洲本 稔	議会運営委員	朝来市議会

※ごみ処理計画特別委員会は正副議長以外の8議員が所属

平成19年度会計別予算額

区分	当初	補正	総額
一般会計	1億5,700万円	—	1億5,700万円
電算事業特別会計	2億2,150万円	1,092万円	2億3,242万円
休日診療所特別会計	1,400万円	—	1,400万円
合計	3億9,250万円	1,092万円	4億 342万円

組合組織図



◎組合ホームページでもお知らせしています。

<http://www.fureai-net.tv/nantankoiki/>



南但広域行政事務組合では、ホームページを開設し、組合の紹介や南但ごみ処理施設整備事業のこれまでの取り組みなどをお知らせしています。左のURL(ホームページアドレス)からご覧ください。